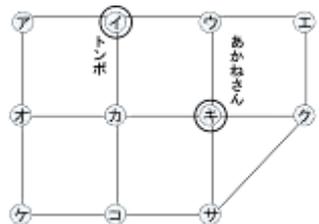
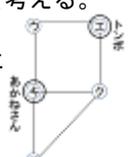


平成29年度

**I C Tの教育活用を推進する実践研究  
指導事例集**

北九州市立高見中学校

①枝種・学年 教科等・単元名	□小学校 ■中学校	学年 1年	教科等 国語	単元名 行書の書き方を学ぼう
②授業スタイル	□教師説明型 ■児童生徒実践型 □同時進行型 □児童生徒発表型 □児童生徒自主学習型			
③実践タイトル	行書の特徴である点画の方向や形の変化を理解して作品を練習しよう。			
④本時のねらい	行書の特徴である点画の方向や形の変化について、DVD鑑賞やタブレットの動画比較機能を使って理解を深め、自らの作品づくりの参考にする。			
⑤主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DVDを鑑賞することで、手元の動きや筆運びを理解し、作品の見通しを持つことができる。</li> <li>・自分の書写作品を写真で撮影し、お手本と比べたり、重ね合わせてみたりすることで、違いを視覚的に理解することができる。</li> <li>・友達の作品をテレビに提示することで、その良さを全員で確認し、自分の作品を書く時の参考にすることができる。</li> </ul>			
⑥本時の展開 (主な学習活動)	学習の流れ	主な学習活動と内容		ICT機器・教材・コンテンツ等
導入	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板に掲示した楷書と行書の「木立」の字を見比べ、異なる部分を自由に発表させる。</li> <li>・DVD「点画の方向や形の変化」を鑑賞することで行書と楷書を比較し、違いを理解させる。</li> <li>・本時のめあてである行書の特徴を踏まえた作品練習のため、タブレットを使うことを説明する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートパソコン</li> <li>・デジタルテレビ</li> <li>・書写DVD</li> <li>・模造紙</li> </ul>
展開	30分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビモニターに作品制作の動画を流して文字の動きを確認したあと、実際に文字を書いて練習する。(15分)</li> <li>・タブレットパソコンを2人で1台渡し、ログインする。お手本のイメージをSKYMENUで配信し、その中の「動画比較」機能について説明する。(5分)</li> <li>・書き上がった作品をペアでお互いに写真で撮り、「動画比較」機能を活用して、手本と比較したり、重ねたりしながら、文字の点画の方向や形について、良かった点、改善点などをペアで話し合う。(10分)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットパソコン(先生機・生徒機2人につき一台)</li> <li>・SKYMENU</li> <li>・ログインカード</li> <li>・デジタルテレビ</li> <li>・お手本</li> </ul>
まとめ	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良い作品を、生徒から募り、その作品をテレビに表示しながら、行書の特徴を確認し、本時の振り返りをする。</li> <li>・次時の予告として、今回の学習を活かしながら、引き続き作品の練習を続けることを伝える。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットパソコン(先生機・生徒機2人につき一台)</li> <li>・SKYMENU</li> <li>・ログインカード</li> <li>・デジタルテレビ</li> <li>・お手本</li> </ul>
⑦活動の様子 (画像添付)	 <p>↑DVDで行書と楷書の違いを鑑賞      ↑作品を撮影し、手本と比較する      ↑良い作品をテレビに表示し、確認する</p>			
⑧児童生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の作品を写真で撮影し、お手本と比較することで、行書の特徴だけでなく、字の大きさやバランスなどについて考えるきっかけになった。また、ペア学習にすることで、お互いの字の良さを褒めたり、話し合ったりできたことが良かった。</li> </ul>			
⑨実践の手応え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットで自分の作品を撮影することで、作品を客観的に見ることができ、いつもの授業以上に盛り上がった。また、動画比較機能で自分の書いた作品と手本を比較するという試みは、子どもにとっても新鮮だったようで、ペアの友達と「ここはバランス良いね。」「ここは、ずれてるね。」と意見を交わしていたのは、とても良かったと思う。</li> </ul>			

①枝種・学年 教科等・単元名	□小学校 ■中学校	学年 1年	教科等 数学	単元名 課題学習
②授業スタイル	□教師説明型 ■児童生徒実践型 □同時進行型 □児童生徒発表型 □児童生徒自主学習型			
③実践タイトル	タブレットを使ってトンボをつかまえる方法を見つけよう。			
④本時のねらい	試行錯誤をしているうちに偶然につかまえることもあるが、タブレットPCを活用し、観察力や洞察力を駆使して、確実につかまえる方法を見つけ出すことをねらいとする。			
⑤主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等のねらい	タブレットPCは班で1台用意した。班の中で生徒が自由に操作しながら課題を解決することをねらいとして活用した。また、教師用（発表用）のタブレットPCの画面をデジタルTVに映し出して説明に用い、生徒の理解を深めるようにした。			
⑥本時の展開 (主な学習活動)	学習の流れ	主な学習活動と内容		ICT機器・教材・コンテンツ等
導入	10	1. 課題を知る。 「ある地点にいるトンボを、2コマ離れた地点にいるあかねさんから1コマずつ交互に移動して、追う、逃げるを繰り返すとき、あかねさんはトンボをつかまえられるか。」 		教師用タブレットPC デジタルTV ワークシート
展開	35	4. トンボをつかまえる方法を考える。 班で自由に考える。 5. 課題を簡単に解決するための方法を考える。 6. 発表する。 7. 簡単に解決するための方法をもとに課題を解決する。 8. 発表する。 		教師用タブレットPC タブレットPC デジタルTV ワークシート
まとめ	5	9. 本時の学習を振り返る。		教師用タブレットPC デジタルTV ワークシート
⑦活動の様子 (画像添付)	○タブレットPCを活用した班活動を通して、生徒同士が意見を交換し合い課題解決へと導くことができた。 			
⑧児童生徒の反応	○タブレットPCを自由に操作し、意見を交換しながらシミュレーションすることで、課題に対する興味・関心を高め、課題解決への糸口を見つけることができた。 ○授業評価をみても「楽しかった」、「分かりやすかった」と答える生徒が多く、意欲的に学習に取り組み、理解を深めることができた。			
⑨実践の手応え	○教師が問題の提示をしたり、生徒が班の考えを説明したりする場面において、教師用（発表用）PCを用い、その画面をデジタルTVに写し出すことにより、思考の共有化が図れ、生徒の思考に深まりが見られた。			

①枝種・学年 教科等・単元名	<input type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校	学年 2年	教科等 社会科	単元名 議会政治の成立と産業革命
②授業スタイル	<input type="checkbox"/> 教師説明型 <input type="checkbox"/> 児童生徒実践型 <input checked="" type="checkbox"/> 同時進行型 <input type="checkbox"/> 児童生徒発表型 <input type="checkbox"/> 児童生徒自主学習型			
③実践タイトル	タブレットを使って産業革命によって変化したものをみつけよう。			
④本時のねらい	産業革命が起きる前と後と比較し、社会の様子や人々の生活の変化に気付き、その理由を資料から読み取ることができるようになる。			
⑤主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等のねらい	・タブレットを活用することで2台のタブレットを使って産業革命前後を同時に比較し詳しく調べることが出来る。 ・1台のタブレットでレポート、もう一台で絵、写真を確認しながら作業をおこなうことで効率よく授業を進めることが出来る。			
⑥本時の展開 (主な学習活動)	学習の流れ		主な学習活動と内容	ICT機器・教材・コンテンツ等
	導入	10	班でタブレットを使い、産業革命前後の資料を見比べて、異なる部分 or 同じ部分を探す。	テレビ、タブレットPC ミライシード (オクリンク) ログインカード
	展開	25	導入で見つけた箇所の一何かが違うのか、同じなのかを詳しく説明できるように班で考える。 考えた説明をオクリンクを使って提出。	タブレット PC (班毎に2台・・12台/先生機1台) ミライシード (オクリンク)
まとめ	15	導入、展開で行った活動から、「その違いによって社会の様子や人々の生活がどのように変わったのか」を班でまとめ、発表する。	テレビ、タブレットPC ミライシード (オクリンク)	
⑦活動の様子 (画像添付)				
⑧児童生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2年生なので機械の扱いはスムーズであり、準備・起動に時間を取られることは少なかった。</li> <li>○ 普段は大型モニターで1枚1枚しか見せられないが、タブレットを使うことによって同じ場所の違う時代の資料を同時に見ることができ、生徒の発見のスピードが速く、また数もとても多かった。</li> <li>○ 2台のタブレットで同時に資料を見られることによって生徒間で活発な意見交換があり、とても楽しそうだった。</li> </ul>			
⑨実践の手応え	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ タブレットを使う事で、効率よく資料の比較をすることができたので生徒が産業革命前後のそれぞれの特徴をよく捉えることができていたと思う。オクリンクの機能を使って比較した内容を提出・発表させていたので、普段の発言型での発表が苦手な生徒からも自分の意見を吸い出すことができた。また、本時のまとめも生徒がしっかりと資料の比較を行っていたので、次回に繋がる発展性のあるまとめを、生徒自身から考えることができていた。このような資料比較の場面は社会科では多いので今後も有効的に使っていきたいと思う。</li> </ul>			

①枝種・学年 教科等・単元名	■小学校 □中学校	学年 1年	教科等 理科	単元名 光合成による気体の変化を観察しよう
②授業スタイル	■教師説明型 □児童生徒実践型 □同時進行型 □児童生徒発表型 □児童生徒自主学習型			
③実践タイトル	B T B 溶液の色の変化を記録し、植物のはたらきについて考えよう！			
④本時のねらい	植物の光合成において、二酸化炭素が使われ他の物質に変化することをB T B 溶液の色の変化から気づき、植物のはたらきについて知ることがねらいである。			
⑤主に活用した I C T 機器・教材・ コンテンツ等のね らい	・タブレット教材の中に含まれている，“オクリンク”を用いてB T B 溶液の色が変化の様子を画像で記録し、教材を用いて変化の過程を整理しまとめ考察を行うことがねらいである。			
⑥本時の展開 (主な学習活動)	学習の流れ	主な学習活動と内容		I C T 機器・教材・コンテンツ等
導入	10	植物のはたらきについて再度確認する。  B T B 溶液に二酸化炭素を吹き込んだ時の色の変化を確認する。		
展開	35	一定時間ごとに画像を取り、溶液の色の変化について考える。		タブレット テレビ
まとめ	5	オクリンクを用いて実験中のようすや変化をスライドにまとめてみる。		タブレット
				
⑧児童生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オクリンクを使うとデータ共有ができ、休みの人も実験結果がわたせて考察やまとめなどがすぐできるので便利だと思う。</li> <li>・前回したことが写真などに残っており、思い出したりするのに便利だ。</li> <li>・色の経過が一目でわかり、比べやすく考察がしやすい。</li> </ul>			
⑨実践の手応え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色の変化が一目でわかるため、画像による記録は大変有効出来であると感じる。</li> <li>・オクリンクを使うことでまとめなどを班ごとで発表させることができ、班での話し合い活動に役立った。</li> <li>・タブレットとで実験経過の観察を行って実験を行ったので、インターバルカメラなどを使用して観察を行うことで、時間と色の変化について学習することができるように感じた。</li> </ul>			

①枝種・学年 教科等・単元名	<input type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校	学年 中学2	教科等 英語	単元名 Daily Scene 5 道案内
②授業スタイル	<input type="checkbox"/> 教師説明型 <input type="checkbox"/> 児童生徒実践型 <input type="checkbox"/> 同時進行型 <input checked="" type="checkbox"/> 児童生徒発表型 <input type="checkbox"/> 児童生徒自主学習型			
③実践タイトル	各教科等におけるICTを活用した「わかる授業」の創造			
④本時のねらい	学んだ表現を使って道案内をしてみる。			
⑤主に活用した ICT機器・教材・コンテンツ等の ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的地までの行き方の指示やその場所の写真を示すことにより、発表を聞いている生徒が視覚的に情報を得ることができるので、ロールプレイの場面が想像しやすくなる。</li> <li>・ロールプレイの評価を全員が短時間ででき、発表者にすぐにフィードバックできるから。</li> </ul>			
⑥本時の展開 (主な学習活動)	<b>学習の流れ</b>  導入 5  展開 40  まとめ 5	<b>主な学習活動と内容</b>  1 前時の内容を復習する。 2 めあてを確認する。  3 活動の説明を聞く。 発表用カードをタブレットで作る方法を確認する。 4 3～4人班を作り、目的地までの教え方を提示するためのカードを作り、ロールプレイの練習をする。 5 発表・評価をする 振り返りを行う	<b>ICT機器・教材・コンテンツ等</b>    タブレット・テレビ タブレット・テレビ	
⑦活動の様子 (画像添付)				
⑧児童生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットを用いて発表用のスライドを作る作業を通して、ロールプレイのイメージがしやすくなり、ただ丸暗記した会話を言うのではなく、何を相手に伝えるのか、と意識してロールプレイをすることができていた。</li> <li>・タブレットの操作が得意な生徒は提示用のスライドを見やすく作ることができていた。タブレットの操作にまだ慣れていない生徒でも手で直接書き込むことができるため扱いやすかったようだ。</li> </ul>			
⑨実践の手応え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚的にロールプレイ内容を提示することによって、英語に苦手意識がある生徒も意欲を持つことができたように感じた。また全体的に前向きな授業の雰囲気になったためロールプレイをする生徒はジェスチャーをつけながらより実際の会話に近いロールプレイをしていた。</li> <li>・生徒全員が評価をすることにより、発表を聞く側生徒は集中して発表を聞いていた。また、発表直後に生徒の評価を見せ、教師からの評価も加えることによって効果的にフィードバックすることができると感じた。</li> </ul>			

①枝種・学年 教科等・単元名	□小学校 ■中学校	学年 2年	教科等 音楽	単元名 音楽によって喚起されるイメージを映像で表してみよう。
②授業スタイル	□教師説明型 ■児童生徒実践型 □同時進行型 □児童生徒発表型 □児童生徒自主学習型			
③実践タイトル	タブレット端末を活用して、楽曲の構造を理解し、音楽によって喚起されるイメージに映像をつけてみよう。			
④本時のねらい	音色、リズム、速度、旋律、強弱などの音楽の構造を理解して、音楽に対するイメージを色や形などに、あえて視覚化し、映像として表現し、互いに伝えあうことで、さらに深い音楽の聴き取りができるようにする。			
⑤主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等のねらい	楽曲を聴取し、感受したイメージを映像として表現するには、タブレット端末が効果的である。感じ取ったイメージにふさわしい映像を収集する場面や作成した映像を発表し合う場面などにも活用でき、生徒の関心・意欲を引き出す上でも効果的である。			
⑥本時の展開 (主な学習活動)	学習の流れ	主な学習活動と内容		ICT機器・教材・コンテンツ等
導 入	10	1、楽曲の音符、リズム、速度、強弱などの構造を復習し、画像の検索方法トリミング等加工方法を説明する。		マグネットカード ミライシード ログインカード
展 開	30	2、タブレット端末を利用して個人で鑑賞をすすめ、感じ取ったイメージにふさわしい映像をweb検索や図書を利用して収集し、音楽と組み合わせる。 3、作成した映像を学級全員で鑑賞し、音楽への理解を深める。		タブレット端末 ワークシート
ま と め	10	4、作品を発表しあうことで、互いに共感したり、自分との違いに気づいたりして、音楽の良さをより深く味わうことができた。		ワークシート
⑦活動の様子 (画像添付)	<p>・タブレット端末を使って、テーマに合った音楽を選択し、イメージ画像を挿入している。</p> 			
⑧児童生徒の反応	<p>・タブレット端末を活用して楽曲を聴取する、映像を収集する、また、自分の学習進度に合わせて聴きたい部分を聴くことができるので、生徒は興味をもって積極的に取り組んでいた。また、生徒の反応の中には、言葉や文字で表せないようなものを映像で表すことができる喜びを感じたという感想や、他の作品を鑑賞して、いろいろな工夫や発想をしていることを知り、違う楽しみ方ができるといった感想があった。また、活動後は、曲中の小さな音の変化やより細かいところまで聴き取れるようになったという生徒もいた。</p>			
⑨実践の手応え	<p>・イメージを映像で表す学習活動は生徒の関心・意欲を高めることに効果的であるとともに、音楽の諸要素を聴き取り、感じたことを表現させる上で効果があった。また、タブレット端末を利用して、必要な情報を主体的に収集する力、伝達する力の育成など情報活用能力の育成を図ることになると思う。一人一人が想像力を働かせ、音楽に向き合うので、音楽がただのBOMになってしまう場合もある。生徒が狙いを意識できる授業の進め方についても検討・改善したい。このような活動に取り組むことにより、音楽家の目標に迫るためのより効果的なタブレット端末の活用を検討したい。</p>			

①枝種・学年 教科等・単元名	□小学校 ■中学校	学年 1年	教科等 美術科	単元名 二つの絵画を比べてみよう
②授業スタイル	□教師説明型 □児童生徒実践型 ■同時進行型 □児童生徒発表型 □児童生徒自主学習型			
③実践タイトル	各教科等におけるICTを活用した「わかる授業」の創造 ～生徒同士が「対話」を通して理解を深める学習指導法を探って～			
④本時のねらい	二つの絵画を比べながら鑑賞することで二つの絵画をじっくり鑑賞し、類似点、相違点、特徴やよいところを見つけられるようになる。			
⑤主に活用した ICT機器・教材・コンテンツ等のねらい	・タブレットを活用することで作品を拡大・縮小し、自分の見たい場所を今までの鑑賞とは違った視点で作品鑑賞できるようになる。			
⑥本時の展開 (主な学習活動)	学習の流れ	主な学習活動と内容		ICT機器・教材・コンテンツ等
導入	10	本時の流れを確認し、テレビに二つの作品を大きく映す。 タブレットを起動させ、ワークシートを開き二つの作品を確認する。		タブレット テレビ ワークシート
展開	25	二つの作品の特徴・よいところを見つける。 二つの作品の類似点・相違点を見つけ、ワークシートに書きこむ。 意見を班で集約し、班の意見としてまとめる。		タブレット ワークシート
まとめ	15	班の意見を提出し、テレビで確認しながら鑑賞を深める。 本時の学習を振り返る。		テレビ
⑦活動の様子 (画像添付)				
⑧児童生徒の反応	<p>○事前学習をしていただいたので、生徒はスムーズにログインし、ワークシートを開くことが出来た。</p> <p>○作品を拡大して鑑賞する機会はありませんので、生徒がとても楽しそうに作品を拡大し、細かい部分まで作品をみていた。</p> <p>○作品にピンをたて、違いや似ているところを探す場面では、作品に直接触れながらピンをたてられるのでとても熱心に作品をみて、ピンを立てていた。</p> <p>○文章で自分の作品に関する見方や考え方を書き、共通の広場で意見を交流出来るので言葉で交流するのはまた違った意見交換が出来ていた。</p>			
⑨実践の手応え	<p>○ICTを使うことで普段とは違う作品の見方が出来ていた。作品を色々な方法で鑑賞できるのはとても面白いと感じた。昨年度は自分でつくった作品をカメラで取り込んで鑑賞会を行ったが、昨年度も今年度も生徒の興味関心や新たな作品の見方が出来る好奇心がとても高まるように感じた。ICTを使うことで作品鑑賞や制作での感じ方や考え方をより深めることができるので効果的に使っていきたい。</p>			

①枝種・学年 教科等・単元名	<input type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校	学年 1	教科等 技術科	単元名 材料と加工に関する技術
②授業スタイル	<input type="checkbox"/> 教師説明型 <input type="checkbox"/> 児童生徒実践型 <input checked="" type="checkbox"/> 同時進行型 <input type="checkbox"/> 児童生徒発表型 <input type="checkbox"/> 児童生徒自主学習型			
③実践タイトル	けがき線に沿って正確に切断できるようになろう			
④本時のねらい	前時までに生徒は、両刃のこぎりの仕組みを学習しており、練習材を使って縦引き・横引きを体験している。だが、けがき線どおりに切断はできていなく、前時を振り返って正確にのこぎりびきするには、どうしたらよいか考え学習プリントに記入する。けがき線に沿って、まっすぐに切るためにはどうしたらよいかを様々な視点から考えさせる。			
⑤主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等のねらい	タブレットPCは2人で1台使用した。正確なのこぎり引きを行うための評価の視点をもとに、2人1組で実際にのこぎり引きを行い撮影する。このとき、「のこぎり引き評価シート」をもとに、お互いののこぎり引きを観察し、評価させる。評価した結果をお互いに伝え合い、自分のよかった点、悪かった点をつかむ。課題をもとに、もう一度のこぎり引きを行う。このとき、協力して話し合いが進められるように配慮する。			
⑥本時の展開 (主な学習活動)	学習の流れ	主な学習活動と内容		ICT機器・教材・コンテンツ等
導入	0 10	1. 前時に録画したVTRから問題点を発表させ、黒板にまとめる。		タブレットPC デジタルテレビ
展開	15 35	2. 課題の解決方法を班で考え、予想したことを発表する。 3. デジタルコンテンツを利用して、正確なのこぎり引きの方法を知る。 4. 正確なのこぎり引きを行うための評価の視点をもとに、2人1組でのこぎり引きを行う。		タブレットPC デジタルテレビ 学習プリント
まとめ	40 45	5. VTRから評価した結果をお互いに伝え合い、自分のよかった点、悪かった点をつかみ評価する。 6. 今日の内容の振り返り、わかったことを数人の生徒に発表させる。		タブレットPC デジタルテレビ 学習プリント
⑦活動の様子 (画像添付)	タブレットPCで意見交流したり、相互評価することを通して、のこぎりびきするための改善点を記述し、けがき線に沿って正確に切断することができた。			
				
⑧児童生徒の反応	○本授業を進めるにあたっての研究の視点は、「正確なのこぎりびきしよう」という問題解決において、タブレットPCの効果的な活用から、問題解決学習のためのアプローチを活用する点である。このような学習過程を取ることによって、生徒が問題解決を効率よく行っていくことが可能となり、問題解決を行う早さや正確さが向上した。			
⑨実践の手応え	○タブレットPCを話し合い活動のツールとして活用することで、個人や全体の考えを共有したり、深めたりすることが容易にでき、解決に要する時間も早くなることが期待できるため、効率的な問題解決学習を展開し、解決困難な問題も解決できるようになる。また、技術科の本質である効率性を考慮し、生産技術を向上させる能力を一層充実させることにつながるであろう。			

①校種・学年 教科等・単元 名	<input type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校	学年 1	教科等 保健体育	単元名 『ダンス』
②授業スタイル	<input type="checkbox"/> 教師説明型 <input type="checkbox"/> 児童生徒実践型 <input checked="" type="checkbox"/> 同時進行型 <input type="checkbox"/> 児童生徒発表型 <input type="checkbox"/> 児童生徒自主学習型			
③実践タイトル	～ I C T 機器を活用した現代的なリズムのダンスのグループ構成学習～			
④本時のねらい	<input type="checkbox"/> 「DANCE FOR THE FUTURE」ダンスパターンAをマスターし、間奏部分の動きの構成をグループで考え練習する。			
⑤主に活用した I C T 機器・教材・コンテンツ等のねらい	<input type="checkbox"/> パソコンとプロジェクターを活用し、前方スクリーンに基本ダンス（鏡写）を流すことで、基本となる振りをマスターすることができる。 <input type="checkbox"/> タブレットを各グループに1台渡すことで、個人、グループとしての動きの確認及び教え合いが効果的に実践できる。			
⑥本時の展開 (主な学習活動)	学習の流れ		主な学習活動と内容	I C T 機器・教材・コンテンツ等
	導入	10分	<input type="checkbox"/> ランニング、体操、補強運動（グループにて実施） <input type="checkbox"/> 「体づくり運動」（巧みな動きを高める運動） ※グループでダブルダッチ	<input type="checkbox"/> P C <input type="checkbox"/> プロジェクター <input type="checkbox"/> スクリーン
	展開	35分	<input type="checkbox"/> 「ダンスフォーザフューチャー」実施する。 <input type="checkbox"/> 各グループにてタブレットを活用し、各グループの構成活動を行う。	<input type="checkbox"/> P C <input type="checkbox"/> プロジェクター <input type="checkbox"/> スクリーン <input type="checkbox"/> タブレット(各グループ1台)
	まとめ	5分	<input type="checkbox"/> 本時の活動での気づき、次時に向けての課題を発表する。	
⑦活動の様子 (画像添付)				
⑧児童生徒の反応	<input type="checkbox"/> 自身の動きや、仲間の動きがすぐに確認できることから、活発に意見交換が行われ、活動していた。 <input type="checkbox"/> 視覚的に確認がとれるため、課題が明確となり修正がスムーズに行われた。 <input type="checkbox"/> 他教科でも活用が進んでいるため、使用方法はスムーズに進んだ。			
⑨実践の手応え	<input type="checkbox"/> 保健体育科の教科性を考えると I C T 機器は大いに活用できると考える。生徒も視覚的に理解を深めることができ、動きなどをイメージしやすく活動が活発になる。また、生徒同士での教え合い等も盛んに行われた。今後、他種目において I C T 機器の活用は効果的であると考え。			